

製品名: リン酸化 PTEN (Ser380) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00944**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:50-1:100, ICC/IF 1:100-1:200
分子量	-

抗原情報

遺伝子名	PTEN
別名	PTEN; MMAC1; TEP1; Phosphatidylinositol 3; 4; 5-trisphosphate 3-phosphatase and dual-specificity protein phosphatase PTEN; Mutated in multiple advanced cancers 1; Phosphatase and tensin homolog
遺伝子 ID	5728
SwissProt ID	P60484
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

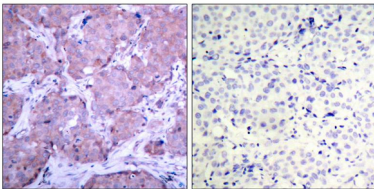
背景

腫瘍抑制因子。二重特異性タンパク質ホスファターゼとして作用し、チロシン、セリン、およびスレオニンリン酸化タンパク質を脱リン酸化します。また、脂質ホスファターゼとしても作用し、ホスファチジルイノシトール3,4,5-トリスリン酸、ホスファチジルイノシトール3,4-ジリン酸、ホスファチジルイノシトール3-リン酸、およびイノシトール1,3,4,5-テトラキスリン酸からイノシトール環のD3位のリン酸を除去します。in vitroにおける基質選択性の順序は、PtdIns(3,4,5)P3 > PtdIns(3,4)P2 > PtdIns3P > Ins(1,3,4,5)P4です。

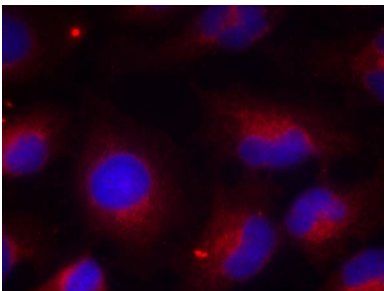
研究分野

細胞生物学

画像データ



リン酸化 PTEN (Ser380) 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。右側はブロッキングペプチドを含むサンプルです。



PTEN (リン酸化 Ser380) 抗体および DAPI (青) を使用した HeLa 細胞におけるリン酸化 PTEN (Ser380) の免疫蛍光分析。